

一般質問通告書一覧表

令和 8 年 9 月 4 日 招 集
第 18 回 嘉手納町議会定例会

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	2 番 伊敷 猛	1. 県外保育士誘致支援事業について 2. こども性暴力防止法について 3. 子どもに虐待や暴力、体罰等を行った事例が	沖縄県では令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までに、沖縄県外から沖縄県内に移住し、保育士として就業予定の方に渡航費、引っ越し費用を補助していた。嘉手納町では本事業を実施していなかったために、県外から保育士として就業したかった方がいたが支援されなかった事案があった。そこで以下を伺う。 (1) なぜ、嘉手納町で県外保育士誘致支援事業をしなかったのか。 (2) 町内の保育園で保育士不足はないか。 (3) 県外保育士誘致支援事業を取り組めないか。 令和 6 年 6 月に「こども性暴力防止法」が国で成立した。子どもに関わる仕事に就く人に性犯罪歴がないかを雇用主が確認する事が義務となっている。令和 8 年 12 月から施行予定の「こども性暴力防止法」について、本町がどのように準備をしているのか伺う。 (1) 学校や保育所、学習塾など、子どもに対して教育・保育などを行う事業所に、子どもへの性暴力を防ぐためにどのような取り組みを行うのか。 (2) 対象の施設や事業所及び対象者は。 (3) 認定対象となる事業者への周知・啓発の取り組みは。 子ども達は我が町の宝であり、未来でもある。しかしながら、家庭での子どもたちへの虐待や、教育現場での事件等が全国であり、我が町での現状を確認したいと思う。	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	2 番 伊敷 猛	あるか 4. 嘉手納町 観光協会に ついて	(1) 本町で過去 3 年間、児童虐待の件数及び内容は。 (2) 本町で過去 3 年間、学校での体罰はあるか。 (3) 全国で暴行の様子を撮影した動画が SNS 等で拡散される問題があったが、本町でこのような事案はあるか。 道の駅かでなは嘉手納町の大切な観光施設である。私も度々質問するのは、嘉手納町に来町して頂くお客様に、基地の現状を全国に発信してもらうと同時に嘉手納町の良さを知って頂く素晴らしい施設だと思っている。しかし、指定管理が観光協会になってから、再三注意しているにも関わらず、トイレや施設の清掃不備、疑問が残るイベント等が続いている。また、3 月議会で聞いたばかりだが、またも観光協会事務局長の退任。このまま指定管理を任せるのは反対である。そこで以下の質問をする。 (1) 嘉手納町は施設の清掃等について観光協会へ意見や苦言を呈したことはあるか。 (2) ロックフェスティバルを今年も行う予定だと聞くが、理由は。 (3) ここまで、局長や駅長の退任が続くという事は、選任に問題があると考え。理事に副町長、又は町職員が入り人選や事業計画にも参画してはどうか。 (4) 次年度も指定管理を観光協会が受ける予定か。	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
2	12 番 當山 均	1. 「(仮称)旧海軍駐機場の即時使用禁止等を求める町民会議」の結成、要請行動	「(仮称)旧海軍駐機場の即時使用禁止等を求める町民会議」の結成、要請行動の展開を要望する。町長の見解を伺いたい。 今年 2 月以降、旧海軍駐機場において自走で入退場、ホットピット給油など騒音・悪臭を発生させる使用が常態化している。第 18 航空団司令官は「日米合意を完全に順守し運用されている」との	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 當山 均	の展開を要望 2．屋良城跡公園の除草など適正な管理を求める	認識を示し運用を正当化したとのマスコミ情報もある。 同じく日米合意に反し、嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練の常態化。 さらに第 353 特殊作戦群の駐機場建設までの 2 年間という約束を反故にし、昼夜を問わずエンジン調整、ヘリのホバリング訓練等を繰り返し、地上騒音を撒き散らしているパパーループ地区の継続使用問題など、近年の傍若無人な基地運用に激しい憤りを禁じ得ない。 さて、本町では平成 17 年に町、議会等の 17 団体で「嘉手納基地使用協定に関する町民会議」を結成し、防衛庁や外務省に要請した経緯がある。上記 3 点を要請項目に絞り、町長を代表に町内各種団体を網羅した「町民会議」を再結成し、発足式の開催、共同声明の発表、それを携えて沖縄県及び県議会、内閣府、外務・防衛省及び第 5 空軍司令官等へ要請行動の展開を要望する。町長の見解を伺いたい。 (1) 屋良城跡公園については、大規模なりニューアル整備計画に伴い文化財調査に取り組んでいるところだが、工事着工までのタイムスケジュールを問う。 (2) 同公園については、嘉手納町都市計画マスタープランにおいて「町民のみならず、周辺市町村居住者なども気軽に利用できる公園づくり、賑わいの創出に努める」と明記されているが、現状は雑草が繁茂し安心して憩える場とは言い難い状態にある。 現在、城跡側、比謝川側、遊歩道別に年何回の除草・清掃作業を行っているか。 (3) 令和 7 年 6 月定例会一般質問にて「沖縄県除草剤安全使用マニュアルに準じ本町版の制定」を提案したが、その後の検討経緯及び結論を問う。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 當山 均	3. 熱中症対策に向けた啓発、取り組みを問う 4. 夏休み中、欠食が懸念される家庭はあるか	(4) 字屋良の祭祀行事はグスク（屋良城跡）への拝みから始まる。グスク祈願は（屋良村）部落祭祀の原点とも言える。グスク内には村の守護神として古来より尊崇されてきた「イビガナシー（祖先神）」が祀られており、字屋良の人々の神域に対する畏怖の念は今なお強い。 ついては、リニューアル整備計画の有無に関わらず、屋良城跡公園全体の除草・清掃など適正な維持管理を求める。 今夏も真夏日が続き、県内でも猛暑日を記録した。まだまだ厳しい暑さが続くと予想されることから次の質問を行う。 (1) 熱中症対策の啓発状況、また高齢者に対する見守り支援など取り組みを伺う。 (2) 今年度、町内において熱中症で救急搬送された人員数は把握しているか。月別及び65歳以上の高齢者の人数、割合を問う。 (3) 屋外で業務にあたる町職員の体調管理も気になる。民間の熱中症対策アイテムとしてファン付き空調服の使用が定着している。近年は作業服タイプ、スポーツ用ベストタイプ及びビジネス向けウェアなど様々な空調服が販売されている。ついては、屋外で業務にあたる町職員の熱中症対策としてファン付き空調服の貸与を提案する。 学校給食が提供されない夏休みなど長期休暇中は、経済的困窮な家庭等にとって、子どもの食事をどう確保するかが切実な問題となっていると聞く。 認定NPO法人グッドネーバーズ・ジャパン（本部：東京都）が、当団体運営のフードバンクを利用する低所得のひとり親家庭へ調査を実施した結果、長期休み中に1日2食以下となる子どもの割合は学校がある期間と比べ約3倍に増加すること	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 當山 均		がわかったという。 さて、令和 8 年 5 月 15 日付、こども家庭庁など関係省庁連名による「夏季休業期間中の酷暑対策及び食支援に係る各施策の活用について（依頼）」との事務連絡が各市町村にも送付された。 本事務連絡では「(前略) 物価高騰等を背景とした生活困窮の深刻化により、夏季休業期間中におけるこどもの健康や生活環境の悪化、食事機会の確保に対する懸念が一層高まっている。特に基本的に登校の機会がなくなる夏季休業期間中は、①酷暑下で安心して過ごせる居場所の不足。②栄養のある食事を十分に確保できないこどもの存在。③支援が必要であるにもかかわらず、表面化しにくい家庭の孤立。といった課題が顕在化しやすい時期でもある」と指摘し、『各自治体においては関係省庁の既存施策を有機的に組み合わせ、夏季休業期間中（冬季休業や春季休業も含め）こどもを切れ目なく支える取り組みを地域の実情を踏まえて積極的に検討・推進をお願いします』と結んでいる。 (1) 本町で夏休みなど長期休暇中、経済的困窮や保護者が精神的不安等、その他の理由により欠食が懸念されるご家庭はあるのか。実態は把握しているか。 (2) 上記、こども家庭庁など関係省庁連名による事務連絡を踏まえ、本町の今後の取り組み方針等を問う。	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
3	3 番 知花賢幸	1. 西浜区の全ての児童らに下校時スクールバスの運用について	地球温暖化による異常気候で日本各地、毎日のように熱中症対策が呼びかけられている。そんな中、嘉手納小学校において 1 日の中で最も危険とされる午後 1 時～2 時が下校時間となり、2 キロ以上、無防備な子どもを歩かせるのは、熱中症を引き起こす要因となりえる。また、防犯上西浜区の児童が北区、西区を通るときは、商店街、小売店、事務所などが多くあり、辛くなれば駆け込め	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	3 番 知花賢幸	2. 嘉手納中学校体育館の北東側(舞台側)敷地の外壁と公園駐車場からの出入口2カ所に対する防止柵設置について 3. 嘉手納基	る場所もあるが、西区を通り西浜区に向かって歩くと、商店街はなくなり、店舗も少なく、非常時、子どもが安心して駆け込める場所が少ない。 そして、小学校での熱中症対策としても、下校時スクールバスの運用が画期的なものとなり不審者対策と併せて子どもを守る対策となる。西浜区の全ての児童に対し、熱中症対策を行う必要がある。児童にとっては通常に下校しているが大人でも、小学校から西浜区までの距離は、危険である。このようなことから次の3点について伺う。 (1) 西浜区児童の下校の現状を把握しているのか伺う。 (2) 9月、もしくは秋休み前まで西浜区全児童対象に下校時スクールバスを運行することが可能か伺う。 (3) 次年度より6月から9月まで(夏休みを除く)の下校時スクールバスを運行することについて可能か伺う。 3月の定例議会で中学校体育館の北東側(舞台側)敷地の外壁と公園駐車場からの出入口2カ所に対し体育館敷地へ防犯上安易に出入りできないような外壁を造り閉じることの防止柵について「学校を管理する立場として、安全管理上の大きな課題であると重く受け止めている。今後、学校側と早急に意見交換を行い、かつ学校の安全管理に対する懸念をしっかりと払拭できる具体的な方策を検討していく」と回答があった。学校敷地内に安易に入れないような防止柵について早期に解決を図っていただく観点から次の2点について伺う。 (1) 学校側と意見交換はいつ行われたのか伺う。 (2) 今後、学校敷地内に安易に入れないような防止柵の設置に向けてどう取り組むのか伺う。 令和5年12月から令和8年8月に至り、25回	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	3 番 知花賢幸	地での訓練、機能強化による負担増大について	目となる米軍パラシュート降下訓練は小規模ではなく常態化し「例外的措置」によって強行実施されている。同訓練は、S A C O合意で原則伊江島補助飛行場滑走路において実施することで昨年12月15日に滑走路修復工事が完了した。しかし、天候不良や海況による「例外的措置」で嘉手納飛行場において実施されている。これまで「不定期、小規模、緊急の必要性、滑走路の不具合の継続」の4要素が例外条件としてきたが滑走路の不具合の継続はなくなり、天候不良や海況といった例外的な条件をもとに基準・判断も曖昧なまま運用上の理由でこじつけ、なし崩し的に行われている。まさに、町民は、常に不安と恐怖の日々が続いている。そして、日本政府も運用に関して「例外的と判断した」として具体的に事由を説明せず何度も追認している。また、旧海軍駐機場において使用も常態化して令和7年7月より令和8年8月の上旬まで連日にわたって旧海軍駐機場で訓練を繰り返してきた。HH60 ヘリコプター、KC135 空中給油機、F22 戦闘機等が自走・エンジン調整による駐機やホットピットの運用による駐機場を使用しており「騒音軽減イニシアティブ」に違反して航空機による使用禁止のS A C O合意が遵守されていない。このように、米空軍嘉手納基地の機能強化は進み基地負担の軽減とは逆に負担が増大しており町民は不安や恐怖、怒りが頂点に達している。町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守るために嘉手納町としてこの現状をどう捉え、今後どのような対策をして取り組んでいくのか伺う。	町長 當山 宏
4	13 番 奥間常明	1. 町内商工業の現状について	(1) クレジットカード早期決済代行業(株)全東進の破綻に伴う町内飲食業への影響は。(加入店舗数) (2) コロナ禍時、政府の緊急支援制度「実質無利子(利息ゼロ)、無担保(担保ゼロ)、ゼロゼロ融	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	13 番 奥間常明	2. 道の駅からの収益を考える 3. 「比謝川自然体験センター」について 4. 道路・交通安全・標識について	資」返済状況は、金融機関との取引の把握することは難しい。しかしながら、業者へのアンケート調査(融資額・毎月返済額・経営状態・不安悩み等)については可能かと考える。 以上2点、商工会と連携して調査してはどうか。 令和7年度、沖縄県入域観光客数1,093万5,800人(国内約799万4,000人、外国人約294万1,000人)、前年比9.9%増、観光収入1兆747億円で、今後も増加が見込まれる。 それに比例して、道の駅入館者も増加の傾向にある。観光協会を中心にいろいろな取り組みを行い町のPRに余念がない。 しかしながら、他県と比べると地元名産品に乏しく、より一層収益を上げる意味合いで展望台入館料徴収は可能か。 道の駅同様に比謝川における多くのカヤック乗船客でかなりの賑わいを見せている。 それは、事業者のたゆまない努力の結晶であり、町の活性化に多大な貢献をされている。そこで、施設利用状況と経済効果等について伺う。 (1) 西区の曰く付き交差点、町道48号線と水釜大木線の路面ヒビ割れと僅かながらの陥没が起きている。最近改善工事されたが、あまりにも劣化が早過ぎるが、どのような工事内容だったのか、そして今後について伺う。 (2) 町道53号線の工事の時期は。 (3) 以前から町民要望がある水釜275、277、278一帯の道路工事はどのようなになっているか。 (4) 町内の街灯、標識(速度表示、消火栓等)、カーブミラーの不具合・劣化状況を担当課で点検されているが、ポール道路設置部の腐蝕劣化等で倒壊の恐れがある箇所やミラーの表面劣化損傷・向き要調整等を伺う。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
5	9 番 安森盛雄	1. ランドセルの軽量化を問う 2. 海浜公園内に飲食店を 3. 人口減少対策の進捗は 4. 再犯防止対策を問う	近年のランドセルは価格も 5 万円から 10 万円はすると聞いている。 以前にもランドセル以外でも許可すると話していたがその後どのようなになったか。そこで、今回紹介するのが安価で軽量である。ランドセルの形をして価格も 1 万円からある。ぜひ推奨をしてはいかがかと思い提案するが当局のご見解は。 リニューアルする海浜公園、体育館の新設に伴い町民など多くの皆さんが活用していくと思われる。最近では公共施設にも飲食店を併設される行政も多くみられるが体育館は完成をしているので近辺にできるよう誘致できないか当町の見解を伺う。 (1) 人口減少対策の現状はどのように進捗しているか見解を伺う。 (2) 利用計画では大きな目玉としてパチンコ店の駐車場も計画に入っていたが今では別の所に先をやられた。もう一つは県営団地横も計画の中に入っているがどのような進捗か伺う。 保護司の課題は再犯防止が大きな課題であるが町としてどのように考えているか見解を伺う。	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
6	4 番 嵩原妙子	1. 町営水釜第二団地の駐車場計画について 2. 災害時に備えたトイレ	(1) 旧団地の解体後のスペースに駐車場が造成されるが、駐車台数は何台の予定か。 (2) 第二団地の住民に車を何台所有しているのかアンケート調査を実施し、必要な駐車台数の把握をすべきではないか。 (3) 駐車場がなくて困っている近隣住民のために空いたスペースを活用し有料駐車場を建設できないか。 近年、全国各地で大規模災害が発生しており、避難生活におけるトイレ環境の確保が重要な課題	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	4 番 嵩原妙子		理由と、5 歳児健診の必要性について、本町はどのように認識しているのか伺う。 (2) 本町において、5 歳児健診を実施する考えはあるのか。 (3) 5 歳児健診の実施に向けて、医師、保健師、心理職等の専門職の確保や関係機関との連携について、どのような課題があると認識しているのか。 (4) 5 歳児健診は、健診を実施すること自体が目的ではなく、発達や健康面で支援が必要な子どもを早期に把握し、必要な支援につなげることが重要である。5 歳児健診を実施した場合、発達面や言語面、社会性などについて支援が必要とされた子どもを、どのような支援につなげていく考えなのか伺う。	町長 當山 宏
7	1 番 仲村龍也	1. 政策評価と財政運営を問う	物価高騰や人件費の上昇などの影響により歳出が増加し、厳しい財政状況になると予想される。このような状況だが、町民福祉の増進やより良い行政サービスの提供のため、持続可能な財政運営の健全化が必要になると考える。行財政改革を行い、未来に向けて嘉手納町独自の取り組みや先進事例を計画実行していくことが「ひと、みらい輝く交流のまち かでな」を実現するために町全体が動き出すと考える。 (1) K P I（重要業績評価指数）設定と P D C A サイクルによる行政評価の見直し。 嘉手納町教育委員会が発行している点検・評価報告書では目標・課題・自己評価・対策を公開している。令和 6 年度主要施策の成果説明書では実施状況はみえるが、目標も課題も対策も自己評価もないのでアウトカムがみえづらく不十分な現状だと認識している。目標達成の判断をするためにも、計画段階で K P I を設定し、アウトプットしアウトカムでブラッシュアップする。そして P D C A サイクルを回していくこと	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	1 番 仲村龍也	2. 嘉手納飛行場における旧海軍駐機場の使用について	が、嘉手納町の成長と進化につながると考える。 ①評価は政策事業と事務事業に分けられる。政策事業の件数とそのうちK P I が設定されている件数を伺う。 ②アウトカムの設定と評価を伺う。 ③成果に対して目標・課題・対策・自己評価がどのようにP D C Aサイクルと連動しているのかを伺う。 ④主要施策の成果説明書が次年度の予算編成と施策にどのように反映連動しているのか伺う。 (2) 財政状況と新たな財源を問う。 ①実質収支比率について推移と今後の対応を伺う。 ②経常収支比率について上昇した要因と課題と対策を伺う。 ③公債費比率と減債基金の現状と今後の動向を伺う。 ④財政調整基金の現状と計画を伺う。 ⑤地域振興基金と地域福祉基金の現状と計画を伺う。 ⑥現在の一般財源を補助金活用できる見込みを伺う。 ⑦補助金活用できず一般財源になる見込みを伺う。 ⑧新たな財源の確保への取り組みを伺う。 日米で定めたS A C O最終報告において、騒音軽減イニシアティブの一環として「嘉手納飛行場における海軍航空機の運用及び支援施設を海軍駐機場から主要滑走路の反対側に移転する」と定められている。しかし移転完了したにもかかわらず、旧海軍駐機場において航空機・ヘリコプター・無人偵察機等の駐機・自走・エンジン始動が相次いで確認されている。住民居住地に近接する旧海軍駐機場の航空機使用は、航空機騒音や排気ガスの	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	1 番 仲村龍也		悪臭等を発生させ、嘉手納町民の基地負担増につながり、嘉手納町民の安心安全な生活に支障をきたしている。我々町民がないがしろにされているこの現状は決して許されることではない。嘉手納町民として、嘉手納町議会議員として、嘉手納飛行場旧海軍駐機場の使用を容認することも受け入れることもできない。嘉手納町議会として嘉手納飛行場旧海軍駐機場の航空機の使用を今後一切行わないこと、SACO最終報告を厳守することを要請した。 (1) 上記の件について当局の見解を伺う。	町長 當山 宏
8	5 番 福地義広	1. 庁内の人材育成について 2. 強行されるパラシュート降下訓練及び旧海軍駐機場違反使用、防錆整備格納庫建設計画等	本年度施政方針の中で、當山町長は、執行体制と行財政の運営等の項において、複雑多様化する行政課題に的確に対応し、質の高い行政サービスを提供するため、階層別・専門別の研修体系を充実させ、自ら考え行動する「自律型職員」の育成を目指す、と規定している。以下伺う。 (1) 「自律型職員」とは何か。具体的に説明願いたい。 (2) 「自律型職員」を育成する目的は何か。 (3) 「自律型職員」に何を期待するのか。 (4) 育成によってどのような効果を求めているのか。 (5) 「自律型職員」の育成の現状はどうなっているのか。また、現在何に取り組んでいるか内容を伺う。 米軍によるパラシュート降下訓練は月一回の割合で強行され、旧海軍駐機場も断続的に使用が続いている。議会も再三に渡り意見書・抗議決議を可決した。町も直近の7月13日、22日に続き、8月14日にも旧海軍駐機場の使用抗議及びその禁止を求めて要請書を提出しているが、事態は一向に解決に向かわない。それどころか訓練は酷くなる一方である。加えて防錆整備格納庫建設計画	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	5 番 福地義広	の嘉手納基地の機能強化の状況について 3. 子育て支援について	も中止・撤回されたとの情報もない。このような嘉手納基地の機能強化の状況を受けて以下を伺う。 (1) 旧海軍駐機場については日米協議が行われているが、協議の進捗状況を伺う。 (2) パラシュート降下訓練は頻度を増し、その態様も基地の通常運用の合間にパラシュート降下訓練を実施するという、これまでにない状況で、事件事故の可能性が高まる危険な状況ではないかと危惧するが、この現状についての町の見解を伺う。 (3) 防錆整備格納庫建設計画の現在の状況について伺う。 (4) このような嘉手納基地の機能強化が進んでいる状況について危惧感を抱く町民も多い。町はどのように捉えているか。 (5) この状況を打開するための方策をどのように考えているか。 嘉手納町の子育て支援は高く評価されているが、その内容は経済的支援が中心となっている。今後は子どもたち個々の育ちへの支援が必要ではないかと考える。そこで、国が導入を進める 5 歳児健診制度について伺う。 (1) 5 歳児健診導入の目的は何か。 (2) 5 歳児健診を導入しようとする理由は何か。保護者や学校現場から導入の必要性等について声はあがっていないか。 (3) 就学時前健診とはどこが違うのか。 (4) スムーズな就学という観点からすると、5 歳児健診と就学時前健診との連携が必要かと思われる。子ども家庭課と教育委員会、教育現場との連携が必要かと思われるが、町としてどのように考えているか。 (5) 5 歳児健診の導入については、どう考えているか。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	6 番 志喜屋孝也	1. 豪雨災害の対策を問う 2. 地震対策を問う 3. 旧海軍駐機場を問う	千葉県豪雨災害を事例として伺う。 (1) 本町で千葉県豪雨だと、家屋浸水はどこで何戸程が予想され、また、どこで地滑りや土砂崩れが予想され、影響を受ける家屋建物は何戸予想されているか。 (2) 被害が予想される住宅全戸に対して事前に各々がとるべき行動を予め周知徹底できているか。直接緊急連絡できる体制にあるか。 (3) 国交省では、2021 年水防法改正。下水道事業を担う市区町村に内水ハザードマップ作成を義務づけた。本町の内水ハザードマップでは1 時間に何ミリの雨量を想定しているか。 (4) 都市型水害の脅威とは、また内水氾濫とアンダーパスの場所と水没車両が予想される場所と対策は。 (5) これらの豪雨災害に対する対策と、本町でも防災計画で見直すべきことはあるか。 (1) 本町の周辺の活断層の場所と位置と状況は。 (2) 想定する震度と倒壊する家屋の戸数は。 (3) 町独自で各家屋を耐震診断し自宅の安全性、もしくは危険性等を住民に周知する対策の考えは。 (4) 本町での想定される震度等は。 (5) その震度に対する断水戸数想定と場所は。 (6) 人間の心理における「災害が来ても自分は大丈夫」と根拠もなく思い込む性質「正常性バイアス」とは。 (1) 海軍駐機場の機能は、沖縄市側へ移転したと認識しているが、移転後の旧海軍駐機場の運用状況は。 (2) 現状の運用に対する日本政府と米軍の見解は。 (3) 町の今後の対応策と方針を町長へ伺う。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
10	15 番 新垣貴人	1. 基地問題について 2. 環境衛生について 3. 公園整備について 4. 体育施設の活用について	(1) 海軍駐機場の機能は、沖縄市側へ移転したと認識しているが、移転後の旧海軍駐機場の運用状況は。 (2) 現状の運用に対する日本政府と米軍の見解は。 (3) 町の今後の対応策と方針を町長に伺う。 (1) 原材料不足に伴う有料ゴミ袋販売方式と有料ゴミ回収回数券方式のメリットとデメリットは。 (2) 有料ゴミ袋販売方式と有料ゴミ回収回数券方式のコストパフォーマンスで、対比のシミュレーションは。 (3) 従来の有料ゴミ袋を販売し、回収する方式を市販の透明や半透明の袋に町指定の有料ゴミ処理券を貼付し、回収する方式へ変更してはどうか。その見解を伺う。 (1) 兼久海浜公園内のテニスコートの整備スケジュールは。 (2) テニスコート利用者や団体への周知と代替地の確保は。 (3) 他市町村のテニスコートを利用できるよう協力依頼等はなされているのか。 (1) 嘉手納野球場の令和7年度の利用実績と収支は。 (2) 嘉手納野球場はイベント会場としても、活用が可能な施設として設置されている。開設から現在まで野球以外での利用実績と今後の運営方針は。 (3) 各施設のネーミングライツの進捗状況は。	町長 當山 宏
11	14 番 田崎博美	1. 低未利用土地について	低未利用地とは適切に利用されるべき環境にあるにも関わらず、居住や事業などに使われていない「未利用地」と利用頻度や管理状況が周辺に比	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	14 番 田崎博美	2. エネルギー政策について	べて著しく劣っている「低利用地」を合わせた土地の総称である。空き地、空き家、耕作放棄地などがこれに該当している。 (1) 低未利用土地等の適切な利用管理を促進するための特例措置の見解について。 (2) 適用期限、控除額、価格要件について伺う。 (3) 低未利用地特別控除の適用要件について、対象者、対象地の規定は。 地球温暖化とは工場や自動車などで化石燃料を大量に燃やすことにより、二酸化炭素などの温室効果ガスが大気中に増え地球全体の平均気温が上昇する現象である。産業革命前と比べて世界平均気温は約 1.1～1.4℃上昇しているといわれ、ゆえに熱波や豪雨などの異常気象を引き起こしている。嘉手納町民は特に米軍機の排出する熱風と排気ガスにより命と暮らしがおびやかされている状況にあると思われる。 (1) ペロブスカイト太陽電池の特性についての認識を伺う。 (2) エネルギー縮減のための対策は推進されているか伺う。 古い照明をLEDに換える、全世帯に無料取り付けを国に要請するべきと思うがいかがか。	町長 當山 宏
12	11 番 仲村渠兼栄	1. 當山町長 5 期目の出馬を	初当選から今日まで 4 期 16 年間の実績は、多くの町民から高い評価が聞こえる。特にハード事業は特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用で、嘉手納野球場のリニューアル、兼久体育館整備、各公園リニューアル、嘉手納児童館リニューアル、屋良幼稚園、小学校整備、嘉手納小学校体育館整備、各区自治会の整備、保育所整備などがあり、現在引っ越し中の水釜第二町営住宅整備事業は屋上部分を防災避難場所としての活用も兼ねた施設を完成させた。 ソフト事業も、コロナ流行前、後のまちづくり	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	11 番 仲村渠兼栄	2. 沖縄県N I E 推進協議会との連携は 3. スクールロイヤー導	は、多くの町民から「嘉手納町」に住んでよかったと言われ、特に物価高騰の中、嘉手納町は単独で野國總管商品券を発行し町内の飲食事業者と利用者からは絶賛の声があった。 教育行政も時代の変化に対応する刷新に取り組み高い評価を受けている。 町制施行 50 周年を迎え、新しい年に取り組むべき多くの課題を十分把握しているのは當山町長しかおりません。それは、困難の基地問題の解決は経験と実績の行政手腕が問われる 4 年間になるからと考える。 5 期目出馬に向けて町長を支える町議員として伺う。5 期目出馬の予定は。 「教育に新聞を」沖縄県N I E 推進協議会は、県教育長へ学校図書館への新聞配備の促進と教育行政とN I E 推進協議会との連携等を要請した。 そこで、本町の学校現場の配備状況などを確認したい。 (1) 中学校への新聞配備状況は。 ①配備の時期と配備箇所は。 ②配備部数は。 ③近隣市町村の配備状況の把握は。 ④中学 2 年・中学 3 年生の全クラスに配備した場合の予算額は。 ⑤本土新聞の配備は。 ⑥学力向上推進委員会の事業(予算を活用)として導入の予定はないか。 ⑦学力向上推進委員会の過去 5 年間の予算決算額は。 (2) 学校現場の教職員に対して「導入に向けて協議」した事はあるか。 (3) N I E 推進協議会と協議連携する予定は。 スクールロイヤーの導入については 15 番議員から令和 5 年 9 月、令和 7 年 6 月の一般質問に対	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

[illegible]

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	11 番 仲村渠兼栄	5. 旧海軍駐 機場の経緯 と対応は	(GビズID)の取得は。 ②指定管理者などの施設運営者のアカウント (GビズID)の取得。 (1) 旧海軍駐機場の移転の経緯は。 (2) 今後の町の対応は。	町長 當山 宏
13	7 番 宇榮原京一	1. 嘉手納飛 行場等周辺 まちづくり 事業を問う 2. スポーツ ツーリズム 推進事業を 問う	令和元年度に「嘉手納飛行場等周辺まちづくり 事業」構想策定業務を実施し、これまで「屋良城 跡公園」「嘉手納野球場」「兼久体育館」のリニュー ーアルを大型プロジェクト事業として進めてきた。 そのうち、嘉手納野球場は令和7年3月に完 成し、兼久体育館については令和8年9月頃の完 成を目指している。これまでの事業を振り返ると ともに、今後、整備が残されている屋良城跡公園 のリニューアルについてその進捗状況と課題を伺 う。 (1) 嘉手納野球場及び兼久体育館、それぞれの建 設事業費と財源の内訳は。 (2) それぞれの年間維持管理費の見込みは。また、 補助金の活用は可能か。 (3) 屋良城跡公園の埋蔵文化財調査を踏まえた今 後の整備方針と完成までのスケジュールについ て。 (4) 同公園完成後は町の活性化にどう結び付ける のか。 スポーツツーリズムは、単なるスポーツイベン トの誘致にとどまらず、宿泊、飲食、交通、観光、 商業など地域経済への波及効果が期待できること から、本町の「稼ぐ自治体」を実現するための重 要な施策の一つと考える。 そこで、以下について町の考えを伺う。 (1) これまでの取り組みと成果。 (2) スポーツツーリズム推進協議会設立の進捗状	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
13	7 番 宇榮原京一	3 . P F I (公民連携) 事業について	況は。 (3) 現在スポーツキャンプ・大会誘致を進めている団体は。 (4) 地域経済波及効果への取り組みはどのように。 (5) スポーツツーリズム推進における具体的な数値目標は。 公共施設の整備・運営において、民間の資金やノウハウを活用する P F I 事業の導入が検討されている。 将来的な財政負担の軽減や、より効率的・効果的な施設整備を図る観点から、現在の検討状況について伺う。 (1) 現在、P F I 事業として検討している事業の概要は。 (2) 現時点における総事業費・総工費の概算は。 また、町の財政負担はどの程度を見込んでいるか。 (3) 今後の事業化に向けた検討・設計・事業者選定・着工等の工程はどのようにになっているか。 (4) 従来方式と比較した場合の、P F I 方式導入による財政面、施設整備・維持管理面での効果や可能性について、町の考えは。 (5) P F I 事業の実施に当たっては、地域経済の活性化や地元企業の育成につなげることも重要と考える。地元企業の優先的な活用や、町内企業が参画しやすい仕組みに検討されているか。 (6) 近隣市町村で PFI 事業にて建設された代表的な施設は。	町長 當山 宏